

活動報告

第7回 本部 技術士受験説明会実施報告

技術士包装物流会 本部
受験対策委員 橋本 香奈

開催日時	2019年(令和元年)11月23日(土) 14:00~17:30
開催場所	一般社団法人日本マテリアルフロー研究センター 2F 会議室
参加者	合計 32名(受講者 16名、技術士 16名)

国内・海外をめぐる「包装・物流」の潮流は大きな変革期を迎えている。21世紀に求められる「包装・物流」人材の活躍を、より一層推進する手段として、「包装・物流」専門家(技術士)の育成が急務である。その一環で、本部および関西支部で交互に年1回開催していた受験説明会を両拠点で毎年実施するべく変更した。

なお、今回は技術士試験改正に伴う経営工学部門科目統合後、初の説明会であった。

◆開催案内

1. 要旨：「生産・物流マネジメント」技術士試験を目指す方々を対象に受験の仕組みと技術士の活動事例、合格の秘訣、受験にあたって Q&A などを分かり易く解説。
2. 内容：技術士制度、技術士試験の内容、合格者の推移、技術士に望まれる資質など。
3. 主催：(公社)日本技術士会 登録グループ 技術士包装物流グループ
4. 後援：(公社)日本包装技術協会、(一社)日本マテリアルフロー研究センター
5. 共催：日本包装コンサルタント協会、日本包装専士会、日本包装管理士会、日本 MH 協会
6. コーディネーター：田中好雄氏「技術士(ロジスティクス)・包装専士・包装管理士」
7. パネリスト：近年の技術士第二次試験(ロジスティクス「包装・物流」合格者)他
8. 日時：令和元年 11 月 23 日(土) 14:00~17:30
9. 会場：(一社)日本マテリアルフロー研究センター 会議室

◆受験説明会プログラム(司会 橋本)

- 14:00 野田会長挨拶
- 14:05 講演 1 技術士試験のアウトラインと合格の秘訣 田中相談役
- 14:50 講演 2~5 技術士試験受験のノウハウ披露 金岡、成田、下村、久保田
- 15:50 休憩
- 16:00 Q&A(参加者全員による質疑応答)
- 17:00 名刺交換会
- 17:30 終了

◆講演 1 生産・包装・物流「技術士」への道 -「技術士」試験と「技術士」の手引-

田中 好雄 技術士（経営工学部門/農業部門）

変更された選択科目「生産・物流マネジメント」は生産・包装・物流および流通で直面する課題解決策が出題される。サプライチェーンを包括的に捉え、具体的なテーマに対する取組みや考え方、意見を述べる必要がある。

生産・物流マネジメントの技術士の資格取得を以下の理由から応援する。世のため人のために働く専門家が求められている。技術士の資格はプロの技術者としてスタートラインに立つため必須となる。高度化・多様化・法制化・国際化する産業界では、技術士に求められる役割が年々高まっている。

◆講演 2 技術士試験受験について 金岡 節男 技術士（経営工学部門 ロジスティクス科目）

博士号取得と時期が重なり、勤め先でも業務多忙だったので、健康面にも配慮して二年計画でお金をかけずに臨んだ。業務経歴票は、口頭試験で試験官が目を通すものなので、作成には時間をかけた。

技術士試験は何度不合格になっても、合格をめざして頑張る強い意志を持ってほしい。友人や家族など、応援・協力してくれた人への感謝の心忘れないでほしい。

◆講演 3 技術士試験受験について 成田 淳一 技術士（経営工学部門 ロジスティクス科目）

第二次の筆記試験はロジックが大事である。設問にすべて答える、一読してわかる文章、論述の明快な文書を心がける。応用問題に対して、実務経験がないことを恐れないでほしい。物流会社で働かないと答えられないような質問はない。自分の考えを論理的に説明しよう。

技術士になったら何がしたいのか、目標を持ち勉強してほしい。

◆講演 4 技術士を目指して 下村 充 技術士（経営工学部門 ロジスティクス科目）

第一次試験を大学の専門の化学部門で受験し、問題なく合格できた。ところが第二次試験で苦戦した。第二次試験と学会発表時期が重なり、試験勉強の時間が減ったことを反省している。合格した昨年度は学会発表をひかえ、受験勉強に集中した。

試験に合格し人脈が広がった。将来、自立(独立)できる道も確保された。技術士になると自身が成長できる。ぜひ頑張って合格してほしい。

◆講演 5 技術士試験受験について 久保田 毅 技術士

（経営工学部門 生産マネジメント科目/総合技術監理部門）

生産・物流マネジメント全体の社会における課題を考え、そのリスク抽出、リスク課題、解決策を考える。課題は過去出題問題から確認できるが、最近の話題にも目を向ける必要がある（「再生可能エネルギー」が今年度初めて出題された）。

口頭試験で1度は議論となり不合格、もう1度は業務内容を見直さずに臨み、あやふやな受け答えで不合格となった。業務経歴票、筆記試験内容に書かれたことが説明できるように準備してほしい。

◆Q&A(記録担当：広報部会 吉田理事)

- Q. 受験の場合の最短スケジュールは、来年（2020年）1次試験、再来年（2021年）2次試験ということでOKか。
- A. そのとおり。
- Q. 技術士として登録する場合は、21部門から選ぶのか。
- A. 2次試験に合格した部門となる。
- Q. 他部門への変更はできるのか。
- A. 変更はできない。他部門を受験して合格すればよい（都度受験が必要）。ちなみに、2部門に合格し、登録する場合は、一つの登録証に2部門が記載される。総合管理部門のみ1回の試験で他部門との併願が可能。
- Q. アクションプランに「所属企業の了解を得る」とあったが、誰に何の了解を得るのか。
- A. 受験票に業務履歴を書くことになるが、その内容について上司の承認印をもらう必要がある。これをもって了解を得たとする。承認印は会社の代表者の印が望ましいが、事業部長等の所属長印でOK。2回目以降の受験では改めて業務履歴を提出の必要はない（受験票のみでOK）。
- Q. 転職した場合は、独立している場合はどうするのか。
- A. 転職先の上司印をもらう。独立している場合等については、技術士会の要領を参照のこと。
- Q. 字が汚い場合はどう対応すればよいのか。
- A. 丁寧に書く。技術士試験の場合は、真摯に書かれていれば公明正大に見てくれる。ワープロ慣れしていると筆記で字がなかなか出てこない。練習あるのみ。答案原稿を5～10回は書いてみる。
- Q. その他筆記で工夫したことは何か。
- A. 筆圧が低いため、シャープペンシル2B（0.7mm）、B（0.5mm）を使った（試験官が答案をコピーして使用した場合、薄くなるのを避けるため）。マス目を使って字を書く練習をした。また、内容をプレゼンする想定でパワポにまとめ、文章をつけていくと、図表やスペースの配分がうまくいく。
- Q. どのくらいの勉強したか（必要か）。
- A. パネラーそれぞれで異なる：1日平均2時間（職場の残業ゼロ運動を活用）。やるときは3時間、やらないときはゼロといった具合にメリハリをつけた。仕事との兼ね合い、他の資格試験と掛け持ちであったため、1次試験前に1月、2次試験前に1月と集中してやった。通勤時や隙間時間に用語の暗記等、休日は5時間くらいかけて文章を何度も書くなど。
- Q. 家族や周囲のサポートなどで助かった点は何か。
- A. 試験勉強中は土日の家族サービス度はほぼゼロ。これから埋め合わせをしなければと思っている。家族からはそんな資格にとって意味があるの、といった目で見ら

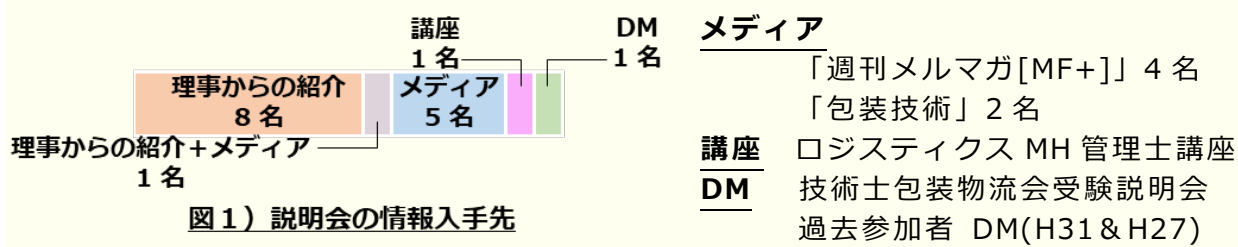
れもしたが、父親も頑張っているのだという姿を見せることができたと思う。周囲に技術士の知り合いがいればよかったとは思ふ。

- Q. 必須科目の「コンピテンシー」とは、何を問われるのか。どんな勉強をすればよいのか。
- A. 試験の変更点に係るので何らかの形で問われると思う。技術士会 HP に考え方が記載されているので参照のこと。技術士試験では知識だけでなくそれを使った応用力が問われる。世の中でテーマとなっている問題について自分ならどう解決するかといった「力量」がコンピテンシー。
- Q. 包装関係の仕事をしているが、2次試験は環境で受けたと思う。おすすめの参考書や勉強法はあるか。
- A. 包装技術協会のセミナー、特に SDGs に関するものなどが参考になる。うまく活用して自分の業績と絡め、論文を書いてみるとよい。環境に関してはよい参考書が多数でている。
- Q. 過去に試験に挑戦したが仕事が忙しいこともありやめてしまった。モチベーションをどう維持したらよいか。
- A. 仲間をつくることは重要。包装物流会のような会合に参加するのもよい。せっかくやるなら合格するまで続けよう。資格がとれるとその後につながる。疲れたら中休みすればよい、無理しない、「よい加減」で続けていく。
- Q. 総合技術監理部門と経営工学部門は科目に重なりがあるので両方対象にしやすいか。
- A. 確かに 5 科目のうち 1 科目は重なる。また、総合技術監理は択一式が 50%、論文もリスクアセスメントのテーマが多く、勉強はしやすいと思う。
- Q. 試験勉強でいわゆる「サブノート」は作成・活用したか。
- A. 試験ではキーワードについて、背景や利点、課題、将来展望等の切り口で問われる。それぞれについて応えられるようノートに整理した。過去問 10 年分でははずれることがあるので、20 年分について抽出した。一方、ノートを作るのも手間がかかるので作らないという意見もあり。(100 点を取る試験ではないので JIS 物流用語辞典で十分)。
- Q. コーチの指導は効果的であったか。
- A. 職務経歴の書き方等を指導してもらった。メールではげましをもらったのはよかった。JPLCS でも添削サポート等実施しているので、活用してほしい。



◆アンケート結果

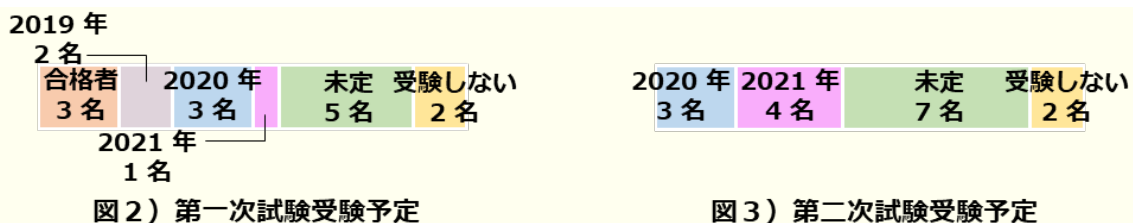
1. 情報入手先



2. 感想

- ・直近合格者の「生の意見」が参考になった(複数)。
- ・試験のしくみ・内容について理解した(複数)。
- ・試験自体のイメージはつかめたが、試験内容詳細については不明であった。
- ・試験の細かな注意点・工夫点、実践的内容を聴くことができ良かった(複数)。
例)シャープペンシルの芯の選定など。
- ・技術士として何をしたいか考えることが重要であるという話が心に残った。受験を真剣に検討したい。
- ・難しそうだが勉強したら受かる気がしてきた。どの科目を選ぶか決めたい。
- ・モチベーションアップにつながる内容であった。
- ・包装管理士の先には包装・物流技術士の道があることを知って有意義であった。
- ・様々なスタンスで取組まれた事例を聴くことができよかった。
- ・包装物流会は堅い印象を抱いていたが、説明会全体の雰囲気明るく楽しかった。

3. 受験予定



受験は検討していないが参加した理由

- ・自社(物流)社員のキャリアアップ、人事制度の教育として役立つか調査するため
⇒技術士試験を理解できた
- ・会社に1名も技術士がおらず、資格取得として採り入れるか否か検討するため
⇒受験主体の内容であり試験内容詳細は不明であった

4. 受験セミナー、添削指導の希望

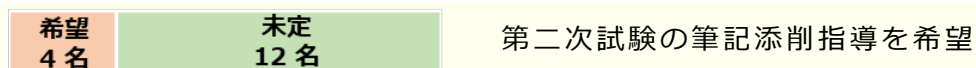


図4) セミナー・添削指導希望